

城南家保ニュース Vol.24-1 2

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町一本杉 1237-1

TEL 0966-22-3814 FAX 22-3617

E-mail jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/site/1018/>



牛の異常産の発生を予防しましょう！

3月に入って暖くなり、桜の花が咲く季節がやってきました。異常産を引き起こすアルボウイルス（アカバネウイルス、アイノウイルス、チュウザンウイルス）もそろそろ動き始める時期です。アルボウイルスは蚊、ダニ、ヌカカなどの吸血昆虫によって媒介されます。

熊本県では毎年、農場におけるアルボウイルスの動向を調査していますが、昨年の城南家保で実施した調査では全体的にアルボウイルスの抗体価が低く推移していました。抗体価が低い状態に一旦、アルボウイルスの感染が起こると異常産等が大流行する可能性があります。その対策として異常産の予防には確実なワクチン接種が重要です。今年も母牛にワクチンを接種し、異常産の予防に備えましょう。



アカバネ病
関節彎曲



アイノウイルス感染症
斜頸を示す



チュウザン病
後弓反張、起立不能

- 接種時期：ヌカカの活動が始まる4～5月
 - 接種回数：初回 4週間間隔で2回接種（産歴問わず）
昨年接種した牛 1回接種
- 対象：繁殖用母牛及び搾乳牛
ただし、以下のものは除く。
1. 発熱・下痢など臨床症状を認めるもの
 2. 分娩間近または直前のもの
 3. 治療中または治療後間もないもの

鹿児島県で豚伝染性胃腸炎を疑う事例が確認されました！

3月1日、鹿児島県鹿屋市で豚伝染性胃腸炎(TGE)を疑う事例が確認されました。熊本県では、平成12年6月以降発生はありませんが、昨年5月に宮崎県で1戸1頭の発生が報告されています。

豚伝染性胃腸炎（TGE）とは？

届出伝染病に指定されている急性伝染病で伝播力が強く、嘔吐、下痢を主徴とします。全ての日齢の豚に発症しますが、特に哺乳期の子豚では致死率が高く、ウイルスに感染した導入豚による農場侵入が多いと言われています。対策として、母豚へのワクチン接種による子豚への乳汁免疫、一定期間導入豚を隔離することが予防法として挙げられます。

ワクチン接種方法はワクチンにより異なりますが、1回目は分娩5週間前に、2回目は分娩2週間前に、各2mlずつ妊娠豚の皮下に接種する方法が推奨されています。

本病の侵入防止のため、一定期間の導入豚の隔離など引き続き飼養衛生管理基準の遵守及びワクチン接種の実施等により発生予防対策に万全を期して下さい。また、疑わしい事例の早期通報をよろしくお願いいたします。



脱水症状が認められた子豚

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

| 病名 | 発生地 | 発生日 | 畜種 | 型 |
|------------------|---------|-----------|-----|------|
| 口蹄疫 | 中国 | 2月18日 | 豚 | A |
| | 中国 | 2月19日 | 牛 | O |
| 高病原性 鳥インフルエンザ | バングラデシュ | 12月17日 | 家きん | H5N1 |
| | ブータン | 1月14日 | 家きん | H5N1 |
| | ネパール | 2月4, 5日 | 家きん | H5N1 |
| | カンボジア | 2月18, 19日 | 家きん | H5N1 |

担当者後記

(2013年2月発生報告)

😊農場に行った際に農家さんから「口蹄疫が発生していた当初は踏み込み消毒槽を設置していたけど今はしていない。」「前は記録していたけど今は記録していない。」と、よく耳にします。喉もと過ぎれば…は人の常とはいえ、ちょっと早過ぎるのでは？😊依然として近隣諸国では口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザが継続発生しています。病原体は目に見えずいつどこから侵入してくるのかわかりません。日常の業務でお忙しいとは思いますが、消毒液の交換など1つのことでも毎日継続していくことで衛生意識が大きく変わっていきます。😊耳にたこができるほど周りから聞いている話だと思いますが、今一度日頃の衛生管理の見直しをよろしくお願いいたします。

家畜の異常を発見したら、家畜保健衛生所までご連絡下さい！